

特集・建設機械

敗戦の苦汁の中に明日を夢みることさえ忘れはてていた国民に、明るい希望を灯したのは「フジヤマのトビウオ」と「佐久間ダム」ではなかったらうか。ここに荒廃した国土に打込まれる建設のつち音は、つぎつぎに新しいエネルギー源や国土の基盤をつくって行き、世界の歴史に特筆される驚異の復興をなしとげた。そして、ここに建設された構造物は、今日も黙々として国民の生活や生産活動を支えている——。

本号では、佐久間ダムの建設が契機となって着実に育ちはじめ、すでに施工の常識とまでになった「機械化施工」の諸問題に着目して、その今日での成果と問題点を追ってみた。

本特集の意図するところは、ただ機械そのものの解説に止まることなく、機械を如何に活用すべきかとの視点にたつところにあるので、この点にご留意のうえお読みいただきたいと考えています。

会誌編集委員会

